

IMF世界経済見通し(2016年1月時点)

資源安等を背景に、世界経済の成長率見通しを下方修正

国際通貨基金(IMF)が1月19日に公表した最新の世界経済見通しの主な内容は、以下の通りです。

- ① 2016年の世界経済成長率見通しを3.4%、17年を3.6%とし、15年10月時点の見通しから各々0.2%下方修正。17年は緩やかな回復を見込むものの、新興国経済の減速や資源安等が大きナリリスク。
- ② 先進国の経済成長率は、2016年、17年とも各0.1%、新興国は両年とも各0.2%下方修正。
- ③ 世界経済のけん引役として期待される米国の2016年の経済成長率は2.6%と、雇用の改善等により15年の2.5%より高まるものの、輸出の減速等を考慮し、前回見通しより0.2%下方修正。17年も0.2%下方修正。
- ④ 日本の2016年の経済成長率は1.0%と、15年の0.6%と比較して緩やかな回復を見込むものの、17年は消費増税の影響等により0.3%に減速。16年は前回見通しを据置き、17年は0.1%下方修正。
- ⑤ 中国、インドの経済成長率見通しは2016年、17年とも据置き。中国の成長率は両年とも、習政権が今後5年間の目標として掲げる6.5%程度の成長率を下回る。インドは15年に続き、16年、17年も中国を上回る。両国の成長率の差は、16年の1.2%から、17年は1.5%に拡大する。
- ⑥ 資源安や政局の混乱、物価上昇等を背景に、2016年、17年のブラジルの経済成長率を前回見通しより2%以上下方修正。17年は2年続いたマイナス成長から脱却。

図表1: IMF世界経済見通し(前年比)

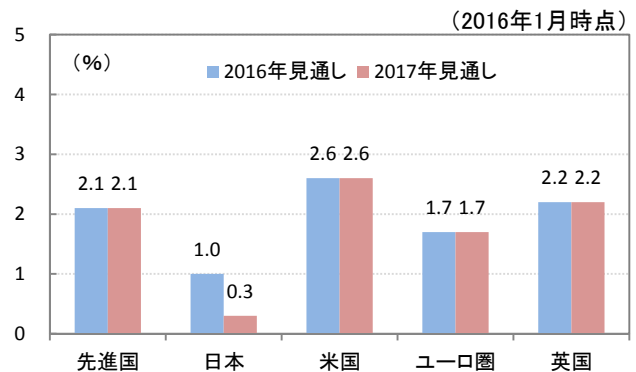
	推定値 (前年比、%)	見通し (前年比、%)		前回(2015年10月時点) との比較(%)		
		2015年	2016年	2017年	2016年	2017年
		(2016年1月時点)				
世界	3.1	3.4	3.6	-0.2	-0.2	
先進国	1.9	2.1	2.1	-0.1	-0.1	
日本	0.6	1.0	0.3	0.0	-0.1	
米国	2.5	2.6	2.6	-0.2	-0.2	
ユーロ圏	1.5	1.7	1.7	0.1	0.0	
ドイツ	1.5	1.7	1.7	0.1	0.2	
フランス	1.1	1.3	1.5	-0.2	-0.1	
イタリア	0.8	1.3	1.2	0.0	0.0	
スペイン	3.2	2.7	2.3	0.2	0.1	
イギリス	2.2	2.2	2.2	0.0	0.0	
カナダ	1.2	1.7	2.1	0.0	-0.3	
新興国	4.0	4.3	4.7	-0.2	-0.2	
中国	6.9	6.3	6.0	0.0	0.0	
インド	7.3	7.5	7.5	0.0	0.0	
ASEAN5(※)	4.7	4.8	5.1	-0.1	-0.2	
ブラジル	-3.8	-3.5	0.0	-2.5	-2.3	
ロシア	-3.7	-1.0	1.0	-0.4	0.0	

(※) インドネシア、マレーシア、フィリピン、タイ、ベトナム

(注) インドは年度ベース

出所: 図表1~3はIMFデータを基にニッセイアセットマネジメントが作成

図表2: 主要先進国の経済見通し(前年比)



図表3: 主要新興国の経済見通し(前年比)

